

【課題2】行政案（上野台中・八景中の統合）やその他の方策について

①基本的には行政案に賛成。ただし、本部会で提示している【課題1～5】の内容を最大限尊重することを条件とする。

②行政案に反対。本部会としては、「松が丘小・三輪小を上野台中校区とする」ことを第1候補として、それに伴う課題を協議することを希望。

③行政案に反対。本地域協議会の解散を希望（新たな枠組みでの協議を希望するため）。

*①②③のどれを記述するかを第4回部会で協議する。協議が

まとまらなければ、複数の意見を記述する。

【第1・2回部会グループ協議】

<保護者G>

- ①上野台中の課題（部活動、教職員体制、子どもの成長等）の解決のため、学校再編は必要である。
- ②「学校再編の行政案（上野台中と八景中の統合）」を検討するための条件として、充実した施設、通学手段の確保、通学路の安全対策、学習支援等について検討する必要がある。
- ③「学校再編のその他の方策（過去に検討した4案等）」の評価・検証が必要である。
- ④行政案以外の再編案について
 - ・松が丘・三輪小校区を上野台中校区に変更する案について、地域（志手原小・高平小校区）に賛成の声が多かった。あとに残る三田小・八景中は小中一貫校を検討すればどうか。
 - ・松が丘・三輪小校区の変更については、相手のあることなので、八景中のことも考え検討する必要があるのではないか。
 - ・新三田付近に上野台・藍・長坂中学校の3校を統合新設した場合の経費はどれぐらいかかるのか。

<地域G>

- ①基本的には、学校の再編に賛成である。
- ②上野台中の課題（部活動、子ども人口の減少等）の解決を急ぐべき。適正な人数がいるほうが教育には良い。1日も早く統合し、チャレンジできる環境を整えてやるべきである。
- ③もし、八景中との統合が難しければ、その他の方策についても柔軟に検討する必要がある。

【第3回部会全体協議】

- ①行政案ありきではなく、子どものことを一番に考えて、真摯に協議を進めてほしい。
- ②地域の中には「三輪・松が丘を上野台中校区にする」案が良いという意見もあった。自転車通学が危険なら、遠距離通学の補助基準（4km）の

| | |
|--|--|
| | <p>見直しによりバス通学を検討しても良いのではないかと。</p> <p>③第3回八景中校区部会では、通学路の安全確保がされるなら、三輪・松が丘が上野台中に通うことに問題はないという意見も出ていた。</p> <p>④現在、上野台中に通う生徒のバスのダイヤが部活動等に対応しているとは言えない。先のことも重要だが、今の子どもものこともしっかり考えてほしい。</p> <p>⑤行政案およびその他の案については、志手原小委員からの提出資料にもあるように、統一した評価指標に基づいて、ていねいに説明してほしい。</p> <p>⑥委員のみなさんが共通認識の出来るような具体的な内容の資料を作成し、次の部会までに各委員に送付してほしい。</p> <p>⑦やはり小規模校から大規模校に行くことの不安がある。いじめ対策チームやスクールカウンセラーの設置などの対策が必要となる環境をなぜあえて用意しなければならないのか疑問である。</p> <p>⑧事務局説明の統合時の具体的なケアの方策は、現在学校で何か問題が起きていることを前提としているのではなく、みなさんが感じている不安の解消のために分厚く支援しようということではないか。</p> <p>⑨元来、この協議会は、子どもたちのより良い教育環境を整えるために「上野台と八景を統合する」という行政案に「賛成か反対か」を協議する場であったはず。そのことを忘れずに、方向性が見えるような会にしてほしい。</p> <p>⑩自分の経験から、小さな学校から大きな学校に行く時には、プレッシャーや心配があると思うが、子どもなことなのですぐに慣れた。子どもは小学校から大学までどんどん大きな規模の学校に通うことになる。少しずつ大きな規模に慣れていく、そのような成長の段階が必要ではないか。</p> |
|--|--|

【課題3】新設校の場所、通学手段および通学の安全確保について

| | |
|--|--|
| <p>①新設校の場所は、上野台と八景校区の直線距離上の中心付近で、できるだけ上野台校区に近い場所を希望。</p> | <p>【第1・2回部会グループ協議】 <保護者G></p> <p>①「八景中校区に新設」という行政案は、八景中寄りの案ではないか ②通学手段（バス）の確保</p> |
|--|--|

| | |
|--|--|
| <p>②学校の教育活動(授業、学校行事、部活動など)に十分配慮した路線バスまたはスクールバスを運行すること。スクールバスの運行に伴い、路線バスの減便・廃止にならないようにすること。</p> <p>③路線バスを活用する場合は、現在の遠距離通学基準(4km)を柔軟に運用すること。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動に支障がないように、教育活動に配慮したバスの確保は必須 ・遠距離通学の基準(4km)についても柔軟に対応してほしい ・地域交通の確保との両立を考えながら、通学手段の確保を考えていくべきである <p><地域 G></p> <p>①新設校は八景中校区ありきで話があるが、できれば、八景中と上野台中の直線距離上の中心(上野台中と八景中との境に近い場所)に作ってほしい思いである</p> <p>②再編に賛成だが、通学手段の確保(スクールバス)が課題である。スクールバスの運行により、路線バスが減便、廃止になると地域は困る。三田市全体としての交通体系を考えていくべきである</p> |
| <p>【課題4】子ども・保護者へのケアについて</p> | |
| <p>①上野台中から通学する生徒・保護者の不安に対するケアを十分行うこと。</p> <p>②統合までの間、小規模校である上野台中に在籍する生徒への十分な支援(バス、人的配置、合同部活動など)を行うこと。</p> | <p>【第1・2回部会グループ協議】</p> <p><保護者 G></p> <p>①在学している子どもたちや、再編の当事者になる子どもたちへのケアも必要である</p> <p>②保護者の不安の声も大変多い。それに対する十分なケアをしてほしい</p> <p><地域 G></p> <p>①統合するにしても、小規模校の子どもたちが「肩身の狭い思い」をしないようにしてほしい</p> <p>②今の子どもたちへの対応策が4点しか示されていない。策が少なすぎるのではないか</p> |

【課題5】 その他（協議の進め方など）】

- ①まちづくり(人を増やす方策)についてさらに工夫すること。
- ②行政案に至るプロセス、諸課題に対する具体的な方策について、丁寧な説明をすること。
- ③市がスピード感、リーダーシップを持って、協議を進めること。

【第1・2回部会グループ協議】

<保護者G>

- ①協議の進め方について
 - ・委員の質問に対する回答や行政案に至るプロセスについて丁寧な説明を求める
 - ・市がリーダーシップを持ち、スピード感を持って協議を進めてほしい
 - ・具体的なことは再編準備会の中での話になっていくであろうが、各論での方向性が見えなければ、結論は出しにくい。できるだけ具体的な方策を示してほしい
- ②今後の協議の方向性（どのように結論を導いていくのか）を示してほしい

<地域G>

- ①上野台中学校の課題の説明が多いが、良い面もあるので、両面から説明してほしい
- ②市がスピード感、リーダーシップを持って、協議を進めてほしい
- ③幼稚園の再編については、地域に説明なく示された。市の姿勢は一方的で全く信用できない。地元で丁寧に説明する姿勢がないと、中学校の再編についても異を唱えざるを得ない
- ④次回、グループ協議を繰り返すのではなく、上野台中の保護者と地域が全体で話し合う機会を設けてほしい。その後、八景中学校区と合同で話し合う場を持つべきではないか。